

第1回 開催報告

【古知野中学校区】

（出席者）参加者：20名 ファシリテーター：4名

1 開催結果

【Aグループ】

古知野中学校区Aグループでは、特に「子ども」「高齢者」「地域活動」の分野に多くの意見があげられており、今後6年間で取り組んでいくべき優先課題としても選定されています。

「高齢者」の分野では、高齢者のみの世帯の増加が課題としてあげられています。生活の利便性が魅力としてあげられている校区ではあるものの、校区内でも交通の便などに差があり、一人暮らし高齢者の外出に不便が出ているところも見受けられます。また、一人暮らしで認知症を有する高齢者の増加等も懸念されています。困りごとを抱えている世帯へどう介入していくか、という支援をする側の課題もありつつ、高齢者自身がどう暮らしていくかをイメージしておくことが大切である、という意見もあがっています。

「子ども」の分野では、子ども・親同士の交流の場の不足が課題としてあげられています。特に未就園児の子ども同士、親同士の交流が少なく、子育て支援センターが近くにないために地域での交流ができない世帯があることが課題となっています。

「地域活動」の分野では、地域のコミュニケーション不足が課題としてあげられています。居住年数の長い住民が多く、地域としてのまとまりのよさが魅力としてあげられている一方で、転入世帯が地域に溶け込みにくいのではないかと、という課題もあがっています。転入してきた世帯は地域とのつながりが薄く、また、世帯の高齢化が進行している一方で、若い世代も減少しているために、異世代交流の機会も減少していることが課題となっています。

優先課題以外の課題について

以下の意見は、今回地区で取り組んでいくべき優先課題には設定されませんでした、江南市全体として取り組んでいくべき問題です。

地域福祉計画の本編や、市で実施する他計画に反映し、取り組みを進めていくことを検討します。

【その他主な意見】

- ・子どもの遊び場・公園の充実
- ・大雨時の道路の冠水対策
- ・空き家対策
- ・交通の利便性向上

参考 意見一覧

魅力	
・同年者等付き合いがある	・友人・知人がいる
・生まれてずっと古知野に住んでいる人が多いので、地域のことが聞ける	・ご実家が近い方が多い
・まとめやすい地域である。世帯が少ない	
・公園が整っている	・生活するのに便利
・生活していくのに必要な病院、スーパーなどが整っている	・コンビニ、スーパーが近くにある
・ごみの分別は進んでいる	
・自主的に運動する高齢者のグループがある	
・今までは大きな災害が起きていない(安全)	・災害が少ない。5年以上災害なし
・防犯灯が多く夜のウォーキング等が楽である	

課題 意見一覧

分野		課題
子ども	遊び場が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの広場が近くにない（子どもが道路上で遊んでいる） ・公園が少ない。公園が充実していない
	子ども・親同士の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・小学4年以上の学童保育がなく、ひとりで過ごす子が多い ・親子の触れ合いの時間が短い ・（子を持つ）親同士の交流が少ない
障害者(児)		—
高齢者	高齢者世帯の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしまたは高齢者世帯がある → 今後どうしたいかを自分で考えておくことが大切と思う ・ひとり住まい世帯が多くなってきた ・一人で生活している高齢者も多い ・高齢者ひとり暮らしの認知症が増えているのと、その一歩手前で生活不安を抱えている人が増えてきた
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすく便利とはいえ、一人暮らしの高齢者は外出（買い物、病院）など不便もある ・認知症の方が出始め、その対処方法を考えないと ・ごみの問題は、特に高齢者が重い物は出しにくい。立ち当番、高齢者の町内は厳しい。まず、町内会で助け合えたらいいな ・高齢者が歩いて行ける距離に集まる所が少ない

分野		課題
地域活動	新旧世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保守的な地域なので、地元の人、よそ者と言う扱い風習がある ・ 新しく引っ越ししてきた世帯が多く、つながりが薄い ・ 新しい住宅が多くできるため、隣の人がわからない
	世代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事への参加 (子ども会なくなった) が若い世代 (子ども) が少なくなっているのので、小さな単位 (町内) で、コミュニケーションのとれる行事があれば・・・ ・ 異世代交流が少ない
ボランティア・市民活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な活動。地域・社会に対して受け身の方が多い ・ 高齢者が集まるための場所がない
防災		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨の時に特に近くの道路が冠水する
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家が目立つ (多い) ・ 門弟小の通学路 (歩道) の中に電柱が多く立っている。 ・ 交通の便が悪い



【Bグループ】

古知野中学校区Bグループでは、特に高齢者・障害者の分野に関して、集いの場が不足していること、移動手段が不足していることが課題として多くあげられました。

集いの場の不足については、魅力としてサロン活動の充実をあげている声もあるものの、交通手段等の関係から一人で参加できない人も多くなっており、サロン等の集いの場の充実とともに、移動支援も含めた参加促進も必要となっています。

また、集合住宅に住んでいる高齢者については、情報が入ってこず、どのような課題を抱えているかが把握しづらいことが課題としてあげられました。

その他、Aグループと同様、転入してきた世帯は地域とのつながりが薄いことも課題としてあげられています。

優先課題以外の課題について

以下の意見は、今回地区で取り組んでいくべき優先課題には設定されませんでした、江南市全体として取り組んでいくべき問題です。

地域福祉計画の本編や、市で実施する他計画に反映し、取り組みを進めていくことを検討します。

【その他主な意見】

- ・子どもの遊び場・公園の充実
- ・ひとり親世帯への支援
- ・交通安全対策(通学路における事故防止等)

参考 意見一覧

魅力	
・古くから住んでいる人の交流ができています	・子ども達が元気
・サロン活動が地域で増えてきている	・サロンの集まりがあり、楽しく話す場所がある
・交通事故が少ない	
・歩いて 10～15 分の所に駅がある	・病院が近い
・静かで暮らしやすい	
・民生委員の連携感が強く、安心できる	
・あいさつができる。コミュニケーションがとれている	

課題 意見一覧

分野		課題
子ども	子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場が少ない ・公園内での高校生の集合しての騒ぎ、または男女の交際 ・公園の衛生 ・公園の中での子どもの遊ぶ部分の整備（犬、猫等の対処）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路に車が多い ・母子家族が多い
高齢者	集合場所、集いの場不足	<ul style="list-style-type: none"> ・地元福祉施設がない ・集まれる場所が少ない。機会も減った
	個人情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅における在宅者情報が伝わってこない
	ひとり暮らしの高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者が多い ・高齢者、独居者が増えてきている。特に借家住まいの方が心配 ・高齢者にとって買い物に困る
地域活動	地域の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者がここ半年の間に多く、近所付き合いが少ない ・町内間交流がない（少ない） ・昔からの住民が多い反面、新しく来た者へは、昔からの排他的な面もある ・サロンへ一人で来られない方が参加できないので、何か支援できない物だろうか
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間がアンバランス
防災		<ul style="list-style-type: none"> ・病院へ通う車が多く、事故が多くなった

分野		課題
その他	移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ・(前野町) 近くに交通手段がなく、免許証返却となると出掛けることができなくなり困る。福祉バスがほしい ・移動の手段バスなどが無い ・ボランティア活動への参加が少ない。社協の運転ボランティア ・通院、買い物等外出時の移動手段(高齢者、障害者) ・他地域の状況がわからない
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・畑とか家庭に集まり、グループ?をつくる



【Cグループ】

古知野中学校区Cグループでは、ボランティア活動等の活発化が魅力としてあげられている一方で、その担い手の不足や、需要とのミスマッチが課題としてあげられています。需要としては、子どもの通学時の見守りや、移動支援、買い物支援、ゴミ出し当番の担い手の拡大等、様々なニーズがあげられていますが、その担い手が不足していること、またそういった需要を持つ人がどこにいるのか情報が得られないことが課題となっています。供給側の課題としては、退職後の年代の方で、元気で活躍する意欲がある人は多いものの、その活躍のためのメニューが明示されておらず、ボランティア情報なども十分に届いていないため、活かしてきれていないのではないか、という課題があがっています。

また、支援や見守りが必要な高齢者が増えてきているなかで、地域のつながりが希薄化しており、日常生活の不安に加え、災害時等の非常時における支援体制をどうしていくかが課題となっています。集合住宅や自治会に入らない人が増えていること、また支援が必要な高齢者等とコミュニケーションを取れる場が少なくなっていることで、近隣の状況の把握が難しくなっていることが課題としてあげられています。

優先課題以外の課題について

以下の意見は、今回地区で取り組んでいくべき優先課題には設定されませんでした。江南市全体として取り組んでいくべき問題です。

地域福祉計画の本編や、市で実施する他計画に反映し、取り組みを進めていくことを検討します。

【その他主な意見】

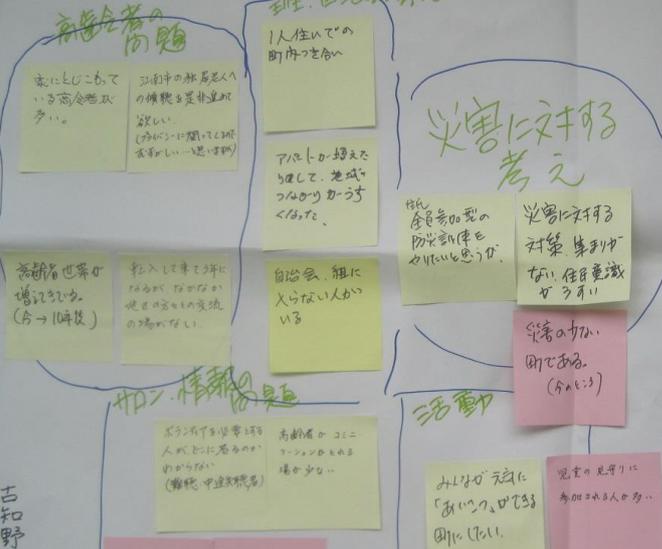
- ・子どもの事故防止
- ・交通の利便性向上
- ・空き家対策
- ・病児保育の充実

参考 意見一覧

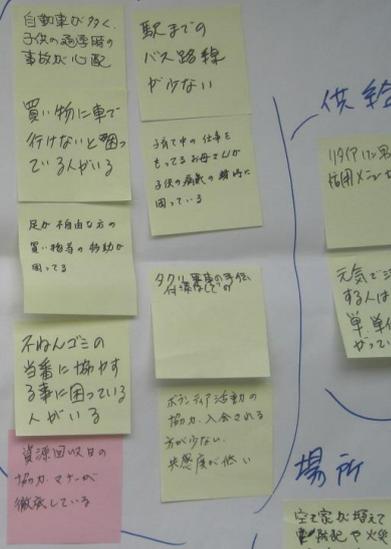
課題 意見一覧 ※下線部は魅力としてあがっているもの

分野	課題
高齢者の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・家に閉じこもっている高齢者が多い ・江南市の独居老人への傾聴を是非進めてほしい（プライバシーに関わってくるので難しいと思いますが） ・高齢者世帯が増えてきている（今 → 10年後） ・転入してきて3年になるが、なかなか地区の方々との交流の場がない
班、自治会の考え	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり住まいでの町内付き合い ・アパートが増えたりして、地域のつながりが薄くなった
災害に対する考え	<ul style="list-style-type: none"> ・住民全員参加の防災訓練のやりたいと思うが ・災害に対する対策、集まりがない。住民意識が薄い ・<u>災害の少ない町である（今のところ）</u>
サロン・情報の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを必要とするがどこにいるのかわからない（難聴、中途失聴者） ・高齢者のコミュニケーションがとれる場が少ない ・<u>ふれあい体験として（興味、趣味）特技のある人がいる</u> ・<u>カラオケの活動で元気に過ごす教室がある</u>
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが元気に「あいさつ」ができる町にしたい ・<u>児童の見守りに参加される人が多い</u> ・<u>児童の見守りを実施する活動がある</u> ・<u>毎朝近隣のゴミひろい活動をしているスーパーがある</u>
需要	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車が多く子どもの通学時の事故が心配 ・買い物に車で行けないと困っている人がいる ・足が不自由な方の買い物等の移動が困っている ・駅までのバス路線が少ない ・子育て中で仕事を持っているお母さんが、子どもの病気の時に困っている ・付添無しでのタクシー乗車の手伝い ・不燃ごみの当番に協力することに困っている人がいる ・ボランティア活動の協力・入会される方が少ない。共感度が低い ・<u>資源回収日の協力・マナーが徹底している</u>
供給	<ul style="list-style-type: none"> ・リタイアした男性の活用メニューがない ・元気で活動する人はいるが、単・単位でつながっていない
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えて、犯罪や火災の危険がある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>催し（主に盆踊り）が盛大。活動的でよい</u> ・<u>鉄道の駅に近く、出掛けるのに便利</u>

◎一人で生活する不安がある (110件確認済)
 災害隣の人元気が気にしてもらえない!



◎ボランティア活動 供給 経路



古野中地区

小さな体験として、趣味(趣味) 特別がある人いる

カラオケの活動で元気に活動 教養がある

毎朝出陣のゴミ出しを活動している人いる

児童の見守り 広域地帯の活動がある (高齢者層に体験)

権利(主に金銭的) 建設の際には、必ず、活動の場、古野中地区に便利

2 第2回に向けた人物設定

優先課題① 地域のコミュニケーションの不足・希薄化

各グループでの関連する意見

Aグループ…子ども・親同士の交流の場が不足している

異世代交流の場も少ない

A・Bグループ…転入してきた世帯は地域とのつながりが薄いことが課題となっている



Aさん

◆課題を抱えている人物設定

- ・就園前の子どもを持つ母親（30歳代）。子どもが生まれてから江南市に転入。
- ・周りは古くから住んでいる世帯が多く、同世代の世帯が少ない。近所づきあいも希薄で、地域に溶け込みづらく感じている。
- ・子育て支援センターが近くになく、同じ世代の親や子どもとの交流がない。近所に住んでいる高齢者など、異世代と関わる機会も少なく、子育てに関する不安を抱えているが、相談できる場がない。

優先課題② 生活に不安を抱える高齢者への支援

各グループでの関連する意見

Aグループ…地区により交通の便に差があり、一人暮らし高齢者の外出に不便が出ているところもある

一人暮らしで認知症を有する高齢者の増加等も懸念される

Bグループ…サロン活動は充実しているが、交通手段の関係で参加できない人がいる

集合住宅に住んでいる高齢者の困りごとの把握がしづらい

Cグループ…地域のつながりの希薄化により、日常生活の不安に加え、災害時等の非常時における支援体制をどうしていいかが課題となっている



Bさん

◆課題を抱えている人物設定

- ・30年以上集合住宅に住んでいる男性高齢者（80歳代）。
- ・障害を持っており、一人暮らし。車を持っておらず、外出手段が制限されている。近所づきあいもあまりない。
- ・近所にサロンがなく、移動手段がなく参加が難しい。近所にサロンがあったとしても、知り合いがいないサロンに参加することには抵抗がある。
- ・大きな災害が起こったときに一人で避難するのは難しいと感じているが、近所づきあいがいないため、誰に支援をお願いすればいいのか不安に感じている。

優先課題③ ボランティア活動の活性化

各グループでの関連する意見

Aグループ…一人暮らし高齢者が増加している

Cグループ…ボランティア活動の担い手の不足と、需要と供給のミスマッチがある

退職後の年代で意欲ある人は多いものの、活かしきれていないのではないか



Cさん

◆課題を抱えている人物設定

- ・最近退職したばかりの男性（60歳代）。
- ・最近近所に一人暮らしの高齢者世帯が増えてきており、何かできることはないかと考えているが、どう介入してよいかわからず何もできずにいる。
- ・退職し自由な時間が持てているため、何かボランティア活動をした
いと考えているが、ボランティアに関する情報をどこで入手したら
よいかわからない。